



秋厚労ニュース

NO1954号

2021年2月24日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

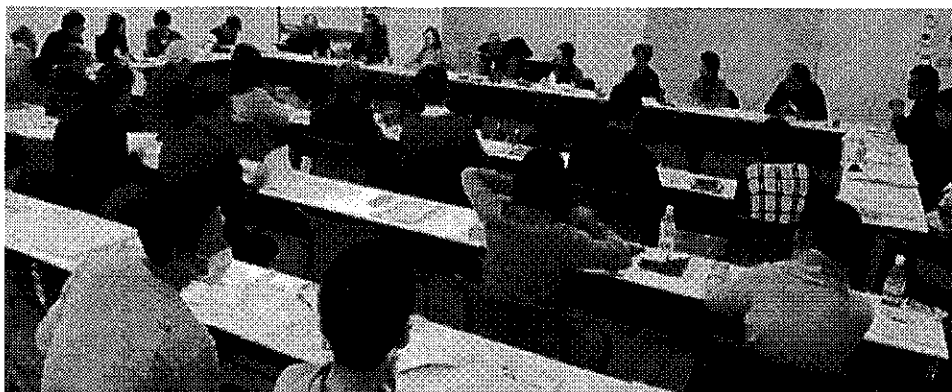
FAX 018(864)3349

住民による

地域調査の報告集会

第2回調査

鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会（市民町民の会）は4月17日（土）、鹿角市福祉保健センターで、第2回地域調査の報告集会を開催予定。当日は「課題・原因・対策」の報告・提案を基に、参加した人たちが話し合うことを大事にします。



中間検討会での話し合い

「報告・提案」を基に参加者が話し合う

市民町民の会が活動する中で、解決方法が見出せない「地域の課題」が数多く浮上。例えば、路線バスが廃止される中で家に閉じこもりがちなる高齢者、不登校や放課後に居場所がない子どもたち、シャッターが目立つ商店街。2018年には医師不足を理由に、かづの厚生病院の分娩機能が大館市へ集約されました。

市民町民の会幹事会での話し合いは、徐々に「自分たちで地域の実態を調べてみたい」という方向へ。2016年〜2019年に地域調査を実施することになりました。

地域で頑張る 個人や団体に 話を聞く

実は市民町民の会で行う地域調査は2回目です。

今回は住民自身が考え、動き、まとめることを大事にしました。地域で頑張っている個人や団体にお話を聞き、聞いた話を幹事会で報告、検討。まとめ作業では三重短期大学の長友

薫輝教授に協力を依頼しました。

2019年1月の中間検討会には、住民を中心に県内外の31人が参加。話し合った内容を基に、さらに調査を進めました。

「課題・原因・対策」の3章構成

調査の中で、多くの人が人口減少や空き家等の地域の変化に漠然とした「将来不安」を抱いている。鹿角地域は他市町村と比べ3大疾病で亡くなる人が多い、医療体制が弱い、等が見えてきました。平成22年に

は鹿角市が県内一短市町村地域だったという事実も。調査結果は「課題の究明、原因の究明、対策の究明」の3章構成です。

住民が主体者として自ら「地域をつくること」が解決の道と考えます。集会当日

は、「対策の提案」等を基に、参加した人たちが話し合う時間を大事にします。

☆市民町民の会の活動が本になりました☆

『お医者さんも来なくなる
地域づくり』
鈴木土身著



興味のある人は秋厚労本部（018-864-3341）へ。一般書店で販売もしています。

第2回地域調査の 報告集会

2021年4月17日（土）
午後1時30分～5時頃

鹿角市
福祉保健センター
2階 研修室1・2

